



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

# しらこぼと

## 2005.11

No. 259

日本野鳥の会 埼玉県支部

S H I R A K O B A T O



## 見沼自然公園とその周辺

工藤洋三（さいたま市）



みどりのトラスト保全第1号地(見沼田圃周辺斜面林)

自宅近くにも一部広がる見沼田圃は、首都圏近郊に残された貴重な緑地空間として存在をしております。昔懐かしい風景もまだ随所に残されていて、水辺、林、草地と、その環境は多様性に富み、多くの鳥たちを観察できます。その一角をマイフィールドとして記録を始めてから10年余りが経過しました。以下その記録を思いつくままに記してみます。

### 探鳥コースは

さぎ山記念公園を出発して東へ進み、由緒ある深井家長屋門前を通り見沼代用水東縁に出て、野田小学校→五斗蒔橋→鷲神社→総持院→総持院橋から、みどりのトラスト保全1号地(国昌寺裏斜面林)を通り加田屋川に出てそれを北上し、見沼自然公園を経由して出発点へ戻ります。ゆっくり観察しながら約2時間30分程のコースです(3ページの地図参照)。

### フィールド日記より

抜粋したフィールド日記でコース案内とします。少しでも見沼田圃のイメージを感じていただけたら幸いです。(季節順)  
**1992年3月28日(土)曇 観察種33種**  
桜の蕾もふくらみ、咲き始めた木もある。曇り空だが暖かな午後だった。

ツバメ、イワツバメ、コチドリ今期初認。コチドリ、クサシギ、タカブシギがスコープと一緒に入る。加田屋川でカワセミ(♂)

1羽出現。

**1994年6月5日(日)晴 観察種21種**  
緑が濃くなりフィールドは夏模様。ほぼ田植えも終わり、早苗がきれいに植え揃った。見沼自然公園近くでカッコウ2羽が、高原のさわやかを感じさせる程に気持ち良く鳴いていた。ムクドリの親子づれが多く、フィールドはにぎやかだった。

**1993年8月1日(日)晴 観察種21種**  
例年になく長い梅雨が明け、朝からむし暑い。総持院近くでムクドリの群れの中に、コムクドリ3羽を見る。もう渡りのシーズンが始まったのか。一服の清涼剤となった。

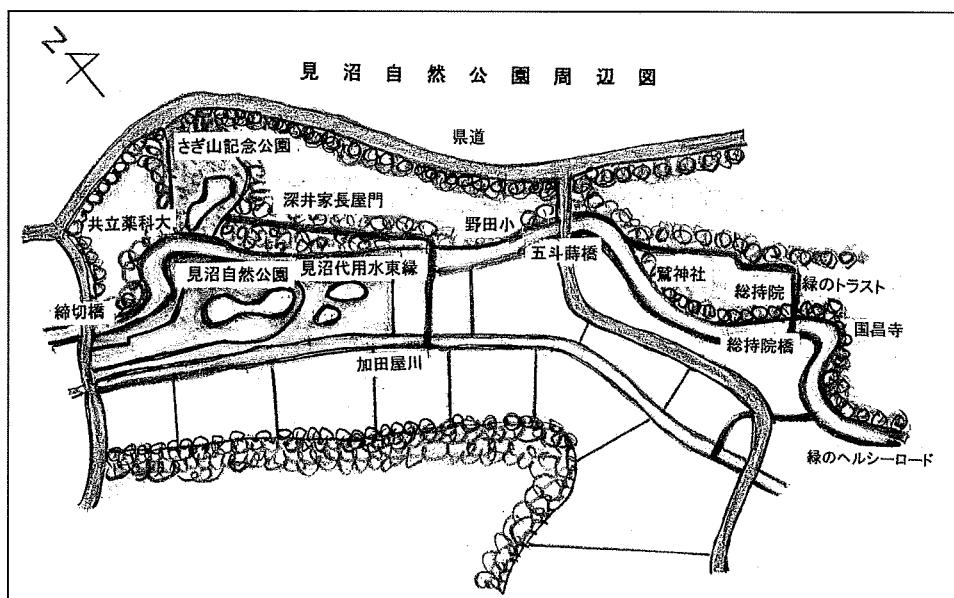
ムクゲの花がやさしげに咲き始めた。大いに汗をかく。

**1992年9月13日(日)晴 観察種20種**  
今日はサシバの渡りを期待して8時頃自宅を出る。期待通り見沼自然公園上空に4羽出現。輪を描きながら上昇気流に乗る様子は見事だった。マガモ、クサシギ出現。

あちこちで、モズの高鳴きあり。鳥たちで季節の変化を感じた日だった。

**1993年10月11日(日)快晴 観察種23種**  
さぎ山記念公園の広場でコサメビタキ1羽、深井家長屋門前でエゾビタキ1羽が出現。当フィールドでは初認。他にショウドウツバメの渡りあり。今日は素晴らしい秋晴れの日で気持ち良く遊べた。

**1994年12月11日(日)曇 観察種38種**  
昨夜来の強風で木々もすっかり落葉し、鳥たちを見やすくなった。さぎ山記念公園近



くでアカゲラ、鷺神社でルリビタキ♂♀各1羽。シロハラ1羽、国昌寺南側の湿田でタゲリ12羽出現。寒かったが、収穫の多いフィールド行だった。

#### 最近顔を見せなくなった鳥たち

参考までに、最近顔を見せなくなった鳥たちの年度別の観察回数を記してみます。

##### クサシギ

1992年9回、1993年7回、1994年5回、1995年3回、1996年1回、1997年以降観察なし。

##### タカブシギ

1992年8回、1993年4回、1994年6回、1995年2回、1996年以降観察なし。

##### イソシギ

1992年6回、1993年7回、1994年5回、1995年2回、1996年2回、1997年2回、1998年以降観察なし。

##### タシギ

1992年7回、1993年9回、1994年6回、1995年4回、1996年3回、1997年1回、1998年3回、1999年2回、2000年3回、2001年1回、2002年以降観察なし。

##### シラコバト

1992年7回、1993年4回、1994年観察なし、1995年1回、1996年以降観察なし。

#### 見沼自然公園完成後の鳥たちの変化は

1994年に見沼自然公園が開設され、それまでの水辺環境は見沼代用水東緑、加田屋川、さざ山記念公園の釣堀池だけでしたが、自然型公園の池が出来た事により、水辺環境が大きく広がり、カモ類を中心に新たに9種が観察されました(工事中の池での観察も含む)。また、バンの繁殖も確認できました。

マガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロハジロ、バン、オオバン、カイツブリ

#### 12年間に観察された鳥たちは90種

1992年から2003年までの12年間に観察された鳥たちは90種(4ページ参照)に及びます。この間を振り返って見ると個人的な印象として、観察種類数に余り変化が無いものの、個体数の減少を感じます。これからも、このフィールドを私の大事な遊び場として楽しみながら観察を続けて行こうと考えています。ここで過ごす時間は、私にとって至福の時です。

(11月23日(水・祝)には、ここで探鳥会があります。行事案内欄をご覧ください。編集部)

## 見沼自然公園とその周辺で観察された野鳥

(1992年～2003年) 春3. 4. 5月 夏6. 7. 8月 秋9. 10. 11月 冬12. 1. 2月

|    | 種類      | 春 | 夏 | 秋 | 冬 |    | 種類       | 春 | 夏 | 秋 | 冬 |
|----|---------|---|---|---|---|----|----------|---|---|---|---|
| 1  | カイツブリ   | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | 46 | カワセミ     | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 2  | カワウ     | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | 47 | アリスイ     |   |   | ▲ |   |
| 3  | ヨシゴイ    |   | ▲ |   |   | 48 | アカゲラ     | △ |   |   | △ |
| 4  | ゴイサギ    | ○ | ○ | ○ | ○ | 49 | コゲラ      | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 5  | アマサギ    | △ |   |   |   | 50 | ヒバリ      | ◎ | ◎ | ○ | ○ |
| 6  | ダイサギ    | ◎ | ○ | ○ | ◎ | 51 | ショウドウツバメ |   |   | ○ |   |
| 7  | チュウサギ   |   |   | ○ |   | 52 | ツバメ      | ◎ | ◎ | ○ |   |
| 8  | コサギ     | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | 53 | イワツバメ    | ○ | ○ | ○ |   |
| 9  | アオサギ    | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | 54 | キセキレイ    |   |   | ○ | ○ |
| 10 | オシドリ    |   |   | △ |   | 55 | ハクセキレイ   | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 11 | マガモ     | ○ |   | ○ | ○ | 56 | セグロセキレイ  | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 12 | カルガモ    | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | 57 | タヒバリ     | ○ |   | ○ | ○ |
| 13 | コガモ     | ◎ |   | ◎ | ◎ | 58 | ヒヨドリ     | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 14 | オカヨシガモ  | ○ |   | ○ | ○ | 59 | モズ       | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 15 | ヒドリガモ   | △ |   | △ |   | 60 | ミンサザイ    | △ |   |   |   |
| 16 | オナガガモ   | ◎ |   | ◎ | ◎ | 61 | ルリビタキ    |   |   | △ | △ |
| 17 | ハシビロガモ  | ○ |   | ○ | ○ | 62 | ジョウビタキ   | ○ |   | ◎ | ◎ |
| 18 | ホシハジロ   | ◎ |   | ◎ | ◎ | 63 | ノビタキ     |   |   | ○ |   |
| 19 | キンクロハジロ | ○ |   | ○ | ○ | 64 | アカハラ     |   |   |   | ○ |
| 20 | オオタカ    | ○ | △ | △ | ○ | 65 | シロハラ     |   |   |   | ○ |
| 21 | ハイタカ    |   |   | ▲ |   | 66 | ツグミ      | ◎ |   | ◎ | ◎ |
| 22 | サシバ     |   |   | △ |   | 67 | ウグイス     | ○ |   | ○ | ○ |
| 23 | チョウゲンボウ | △ |   | △ | △ | 68 | オオヨシキリ   | ◎ | ◎ |   |   |
| 24 | コジュケイ   | ◎ | ○ | ○ | ○ | 69 | キクイタダキ   |   |   | ▲ |   |
| 25 | キジ      | ○ | ○ | △ | △ | 70 | セッカ      | ○ | ○ |   |   |
| 26 | クイナ     | △ |   |   |   | 71 | キビタキ     |   |   | △ |   |
| 27 | バン      | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | 72 | エゾビタキ    |   |   | △ |   |
| 28 | オオバン    | ◎ |   | ○ | ◎ | 73 | コサメビタキ   |   |   | △ |   |
| 29 | コチドリ    | ○ | ○ |   |   | 74 | ヤマガラ     |   |   | ○ | ○ |
| 30 | シロチドリ   |   |   | △ | △ | 75 | シジュウカラ   | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 31 | ムナグロ    |   | △ |   |   | 76 | メジロ      | ◎ | △ | ◎ | ◎ |
| 32 | タゲリ     |   |   | ○ | ○ | 77 | ホオジロ     | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 33 | クサシギ    | △ |   | △ | △ | 78 | カシラダカ    |   |   | ○ | ○ |
| 34 | タカブシギ   |   |   |   | △ | 79 | アオジ      | ◎ |   | ◎ | ◎ |
| 35 | イソシギ    | △ |   | △ | △ | 80 | オオジュリン   | ○ |   |   |   |
| 36 | タシギ     | △ |   | △ | △ | 81 | カワラヒワ    | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 37 | ユリカモメ   |   |   |   | △ | 82 | マヒワ      | △ |   |   |   |
| 38 | セグロカモメ  | △ |   |   |   | 83 | シメ       | ○ |   |   |   |
| 39 | コアジサシ   |   | △ |   |   | 84 | スズメ      | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 40 | シラコバト   |   |   | △ | △ | 85 | コムクドリ    |   | △ | △ |   |
| 41 | キジバト    | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | 86 | ムクドリ     | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 42 | カッコウ    | △ | ○ |   |   | 87 | カケス      | ○ |   | ○ | ○ |
| 43 | ツツドリ    |   |   | △ |   | 88 | オナガ      | ○ | △ | ○ | ○ |
| 44 | フクロウ    | △ |   |   | △ | 89 | ハシボソガラス  | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |
| 45 | アマツバメ   |   |   | ▲ |   | 90 | ハシブトガラス  | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |

出現頻度 ◎多 ○中 △少 ▲1度のみ出現



## 野鳥情報

**さいたま市見沼区深作** ◇5月11日、ムナグロ30羽+（鈴木紀雄）。

**さいたま市見沼区丸ヶ崎** ◇5月12日午前、ムナグロ98羽、キアシシギ2羽など。5月13日早朝、ムナグロ39羽、チュウサギ2羽。5月18日早朝、カッコウの鳴き声を確認（本多己秀）。

**さいたま市見沼区宮ヶ谷塔** ◇5月18日早朝、ムナグロ13羽、キアシシギ1羽。5月20日早朝、ムナグロ6羽（本多己秀）。

**さいたま市見沼区上山口新田** ◇5月16日、苗の植え付けが遅れている田んぼにムナグロ32羽、やや強い北風に羽をなびかせながら動き回って朝食。田植えのすんだところにカルガモが何つがいかのんびりしている。水面近くをツバメが飛び交っていた。芝川の土手を歩いていると、不意に後ろからカワセミが枯れたアシに止まった。5月23日、すっかり稲を植え終わった田の畝にコアジサシ2羽、ムナグロ1羽、カルガモ2羽がなぜか仲良く並んで休んでいた。芝川の土手沿いのアシの中でオオヨシキリが大声を出しながら追いかけて、縄張り争いなのか。自転車を止めていると草むらからスズメの幼鳥が飛び出し、前輪のタイヤにしがみつ慌てて飛び去っていった（赤堀尚義）。

**さいたま市見沼区大宮第三公園付近** ◇5月23日、芝川の中州のガマの葉の中で無事に大きくなってきたパンの雛が4羽、親と同



レンカク 7月15日沖縄にて（石井 博）

じくらしいに大きな足&脚で歩き回っていた（赤堀尚義）。

**さいたま市岩槻区掛** ◇5月16日、ムナグロ21羽。昨年に比べて少ない（鈴木紀雄）。

◇5月17日早朝、ムナグロ13羽、クサシギ1羽、コサギ、チュウサギ、ダイサギ。5月18日早朝、ムナグロ6羽、キアシシギ1羽。（本多己秀）。

**さいたま市岩槻区大戸** ◇5月17日、ムナグロ90羽+、キョウジョシギ2羽。6月11日、日没の頃、アシ原へ。「オウオウ」とヨシゴイの声数ヶ所から。ツバメ約100羽が早くも罅入り。スズメ多数。上空をダイサギ、コサギ、アオサギ、ゴイサギ飛ぶ（鈴木紀雄）。

**さいたま市岩槻区高曽根** ◇5月17日、チュウシャクシギ8羽。5月31日、ケリ2羽。6月2日、ケリ3羽。6月4日、ケリ2羽。ケリは車で走っていても「キリリ」と鳴いて追ってくる。どうも休耕田の草原で営巣体制に入っている模様。ところが、6月10日には見つからず、以後も姿なし。休耕田と思っていた所が田植えをされていた。残念！（鈴木紀雄）。

**さいたま市岩槻区末田** ◇5月17日、ムナグロ50羽+（鈴木紀雄）。

**さいたま市岩槻区尾ヶ崎** ◇5月17日、ムナグロ10羽+、チュウシャクシギ1羽（鈴木紀雄）。

**さいたま市岩槻区野孫** ◇5月20日、ケリ2羽（鈴木紀雄）。

**さいたま市桜区大久保農耕地** ◇5月19日、A'区とA区でムナグロ各1羽。B区でチュウシャクシギ2羽、コチドリ1羽。6月3日、B区アシ原の中からヒクイナの声。何度も聞こえたが、だんだん遠ざかってしまった。カッコウが樹冠で鳴き、ヨシゴイ1羽が飛翔。1998年当時は次々に飛回っていたヨシゴイも激減している。6月8日、B区でヒクイナの声。ヨシゴイ1羽飛翔。6月21日、C区の林から「キッキッキ」  
とオオタカの声、やがて飛び出し、ハシブトガラス2羽にモビングされながら北東に飛び去った。ウグイスの鳴き声、アオサギ

若鳥1羽、青田に佇む（鈴木紀雄）。

**さいたま市桜区秋ヶ瀬公園** ◇5月24日、子供の森でサンコウチョウ♀2羽、久しぶりに青いアイリングを拝めた。どこからかカッコウの声（鈴木紀雄）。

**さいたま市浦和区瀬ヶ崎** ◇5月29日、カッコウの声を聞く（渡邊光行）。

**蓮田市笹山** ◇5月12日早朝、ムナグロ46羽、ゴイサギ2羽、コサギ1羽、チュウサギ1羽、ダイサギ2羽。5月18日早朝、ムナグロ30羽。5月19日早朝、ムナグロ14羽、チュウサギ、アオサギ、ゴイサギ（本多己秀）。

**蓮田市蓮田** ◇5月8日早朝、ムナグロ6羽。5月12日早朝、ムナグロ21羽、ゴイサギ。5月16日早朝、ムナグロ9羽、アマサギ3羽。5月18日早朝、チュウシャクシギ1羽、コチドリ1羽など。6月24日、ヒヨドリとシジュウカラの幼鳥が『チーチーチー』と鳴きながら庭木にやってくるのを見ていたら、「トッキョキョカキ…」という声が3回した。向かいの家の屋敷林にきたホトトギスだったが、すぐに行ってしまった（本多己秀）。

**蓮田市黒浜** ◇5月16日、ムナグロ約50羽。6月29日、上沼で上空を飛ぶツミの♀らしき猛禽を観察。カワセミも元気。7月19日、休耕田でコチドリ成鳥6羽、若鳥4羽が採餌。7月21日、電線のムクドリ群れ中にコムクドリ4羽を確認。さらに水の失われた休耕田に降りているムクドリの群れ中にもコムクドリ♀または若鳥1羽がいた。コチドリ6羽。上沼では、カイツブリ3組が子育て中。7月25日、電線でコムクドリ5羽。稲の間に佇むバンを2ヶ所で観察（鈴木紀雄）。

**庄和町金崎から小平にかけて** ◇5月12日、ムナグロ約40羽（鈴木紀雄）。

**越谷市県民健康福祉村公園** ◇5月18日、コアジサシ1羽、今年はとてもしない感じ（鈴木紀雄）。

**東松山市大谷** ◇5月19日、午前3時15分頃、ホトトギスの声を聞く。今季初認。5月23日、午前5時45分頃、カッコウの声を聞く。今季初認。その日は一日中カッコウの声に

包まれ、周囲が急ににぎやかになった。午後6時頃には我家の前の電線にとまり、しばらく声を聞かせてくれた（中村豊己）。

**寄居町風布** ◇5月21日午前9時30分頃、浄水場から秩父大師方面への杉林でサンコウチョウ♂♀各1羽。昨年と同じ場所で林内を飛び交う姿と声が楽しめた（鈴木敬）。

**行田市** ◇5月23日、午前10時頃、荒川堤の直ぐ下（JR行田駅より東へ10分）を流れる元荒川沿いの木でカッコウ。鳴きながら木と木を飛び回っていました（島村照代）。

**狭山市稻荷山公園** ◇5月24日、コメボソムシクイ1羽。盛んにさえずっていた。ガビチョウ2羽、水場でじっくり十分に水浴を楽しんでいた（久保田忠資）。

**本庄市総合公園内男堀川** ◇5月27日、雛12羽を連れたカルガモの母、えさ取りと散歩に大童だった（町田好一郎）。（下の写真）



**深谷市上野台** ◇7月23日、午後4時40分頃、地震の後、突然「ドスン」との音があり、小型のタカのような鳥が家の軒下に。調べたところツミのようです。スズメらしき鳥を捕獲し、食べている途中なのか（頭がなくなっていたように見えました）掴んで、羽を広げていました。しばらくそのまま動かずにいましたが、写真を近くで取ろうとしたら逃げました（町田）。

#### 表紙の写真

#### スズメ目ホオジロ科ホオジロ属アオジ

「何だアオジか」なんて言う人の方には行かなくていいから、私のそばにおいで。おっと、それでは少し近寄り過ぎ。

写真と文：又部綱仁（さいたま市）



## 行事案内



ツグミ (町田好一郎)

「要予約」と記載してあるもの以外、予約申し込みの必要はありません。初めての方も、青い腕章した担当者に遠慮なく声をおかけください。私たちもあなたを探していますので、ご心配なく。

参加費：一般 100 円、会員と中学生以下 50 円。持ち物：筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、持っていれば双眼鏡などの観察用具も（なくても大丈夫）。解散時刻：特に記載のない場合正午から午後 1 時ごろ。

悪天候の場合は中止、小雨決行です。

できるだけ電車バスなどの公共交通機関を使って、集合場所までお出かけください。

### 羽生市・羽生水郷公園探鳥会

期日：11月3日(木・祝)

集合：午前 8 時 50 分、東武伊勢崎線羽生駅東口、集合後バスで現地へ。または午前 9 時 30 分水郷公園駐車場。

交通：東武伊勢崎線春日部 8:13→久喜 8:27→羽生 8:46 着。または JR 宇都宮線大宮 7:55→久喜 8:15 着で、東武伊勢崎線乗り換え。

担当：中里、和田、榎本(秀)、宮下、四分一、栗原、田村、植平

見どころ：公園のケヤキも色づきはじめました。木の葉が舞い、地面の装いを変えていきます。赤城の山々からの風も冷たくなってきます。久しぶりの冬鳥との再会を楽しみましょう。

### 上尾市・丸山公園探鳥会

期日：11月6日(日)

集合：午前 8 時、丸山公園北口駐車場。

交通：JR 高崎線上尾駅西口 1 番バス乗り場から、西上尾車庫行き 7:32 発で「畔吉」下車、徒歩約 8 分。

担当：大坂、阿久澤(キ)、阿久澤(廣)、立岩、永野(安)、永野(京)、山野、浅見、長谷川

見どころ：早朝探鳥会です。晩秋の公園は紅葉が素晴らしい。ジョウビタキなど、冬の小鳥を探して歩きましょう。心身ともにリフレッシュできます。

### 熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：11月13日(日)

集合：午前 9 時 30 分、秩父鉄道大麻生駅前。

交通：秩父鉄道熊谷 9:11 発、または寄居 8:49 発に乗車。

担当：後藤、中里、和田、森本、石井(博)、島田、大澤、倉崎、高橋(ふ)、藤田、栗原、飛田、新井(巖)、千島

見どころ：バードウォッチャーにとって 11 月は、5 月の夏鳥の時季に続いて心はずむ月です。もう冬鳥たちは姿を見せれています。コハクチョウ、カモの仲間、ツグミ、カシラダカなど。「賑やかで、楽しい大麻生」の幕開けです。

### さいたま市・秋ヶ瀬自然観察会

期日：11月13日(日)

集合：午前 9 時、秋ヶ瀬公園ピクニックの森駐車場。

交通：浦和駅西口から大久保浄水場行きバス 8:17 発にて「下大久保」下車。徒歩約 8 分。

解散：午後 12 時ころ、現地にて。

担当：小荷田、佐久間、杉原

見どころ：アシヤスゲ類の湿原とハンノキやヤナギ類などの湿生天然林として知られた秋ヶ瀬。紅や黄に色づきもはじめた樹々、赤や青、黒や茶とさまざまな姿の木の実、往く秋を惜しむかのようひっそりと咲く草花。近づく冬に山

から降りてきた冬鳥……。ゆっくりと森を歩きながら、季節の移ろいを感じましょう。

その他：植生や植物を主にした観察会です。あれば、樹木や野草の図鑑をご用意ください。



オオタカ (松村禎夫)

### 『しらこぼと』袋づめの会

とき：11月19日(土) 午後3時～4時ころ  
会場：支部事務局 108号室

### さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：11月20日(日)

集合：午前8時15分、京浜東北線北浦和駅東口、集合後バスで現地へ。または午前9時、さいたま市立浦和博物館前。

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：楠見、福井、手塚、倉林、渡辺(周)、若林、小菅、赤堀、新部、青木、増田、小林

見どころ：今年始めからの河川工事が鳥たちの環境を変えてきました。秋に入って、工事が終了した場所に、イソシギやコチドリ、サギ類がやってきました。新しい環境にどんな冬鳥がやってくるのか、リフレッシュ三室へどうぞ。

### 志木市・柳瀬川探鳥会

期日：11月20日(日)

集合：午前9時、東武東上線柳瀬川駅東口前。

担当：佐久間、高草木、志村、神場、中村(治)、中村(祐)、荒木、山田(義)、杉原、原、藤沢、持丸、山口

見どころ：秋も深まり、冬の鳥たちで賑わいを見せる時季になりました。田んぼではサギたち、川ではカモやセキレイ、中洲にはタシギ。ここしばらく見えないタゲリは今回出てくれるかな。

### さいたま市・見沼自然公園探鳥会

期日：11月23日(水・祝)

集合：午前8時15分、JR大宮駅東口「こりすのトトちゃん」像前。または午前9時15分、見沼自然公園駐車場。

担当：工藤、兼元、日根、松村、百瀬、渡辺(嘉)、赤堀

見どころ：例年の体験水田の稲刈りも、子供たちの元気な歓声と共に終わり、見沼田んぼに晩秋の静けさが戻りました。冬鳥たちは、水辺に林にと、やっています。(詳細は今月号の特集)

### 春日部市・内牧公園探鳥会

期日：11月23日(水・祝)

集合：午前9時15分、アスレチック公園前駐車場。

交通：東武伊勢崎線春日部駅西口朝日バス③番から、彩光苑・春日部エミナース行き8:45発で「共栄大学・短大前」下車。西へ徒歩3分。

担当：石川、吉安、中村(榮)、新井(良)、廣川、松永、宮下、吉岡(明)、野村(弘)、野村(修)

見どころ：朝晩ぐっと冷え込んで、晩秋の内牧公園は、冬鳥たちが賑わいを見せています。定番のシメ、ジョウビタキ、ツグミなどのほかにどんな鳥に会えるか楽しみです。

### 栃木県・奥日光探鳥会(要予約)

期日：11月26日(土)

集合：午前7時、JR大宮駅西口代々木ゼミナール前。

交通：往復とも貸し切りバスを利用。

帰着：当日午後7時ころを予定。

費用：6,000円の予定(バス代、高速料、保険料など)。過不足の場合は当日精算。



定員：30名（先着順、県支部会員優先）、最小催行人員は25名。

申し込み：往復はがきに住所、氏名、年齢（保険加入が必要です）、電話番号を明記して、榎本秀和

まで。

担当：榎本（秀）、入山、藤澤

見どころ：初冬の奥日光を散策する毎年人気のツアーです。昨年はアオシギとオジロワシをじっくりと観察できました。雨具、防寒具は忘れなく。

### 狭山市・入間川定例探鳥会

期日：11月27日（日）

集合：午前9時、西武新宿線狭山市駅西口。

交通：西武新宿線本川越 8:43 発、所沢 8:36 発に乗車。

担当：長谷部、藤掛、高草木、石光、中村（祐）、山本（真）、久保田、山本（義）、山田（義）

見どころ：冬鳥たちに再会の季節です。まずは身近なところで復習しましょう。飛び方や地鳴きだけでわかるかな。

### 蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：11月27日（日）

集合：午前8時40分、JR宇都宮線蓮田駅東口バス停前。

担当：玉井、田中、長嶋、長野、菱沼（一）、松永、榎本（建）、青木、鬼塚、長野、中村（栄）、吉安

見どころ：黒浜沼周辺はアシ原、屋敷林共に晩秋の装いとなり、戻って来た冬鳥たちでぐっと賑やかになります。その上、青空にオオタカが雄姿を見せてくれたら最高ですね。

### 本庄市・坂東大橋探鳥会

期日：11月27日（日）

集合：午前8時30分、JR高崎線本庄駅北口。集合後現地へ。十王バス 8:44 発、新伊勢崎行きで「坂東大橋南詰」下車。または午前9時30分、現地月見荘北側集合。

担当：町田、倉崎、堀（敏）、堀（久）、新井

（巖）、羽入田（利）、羽入田（京）

見どころ：晩秋の利根の河原を歩き、猛禽類や、飛来したカモを探します。川面の風も冷たくなってきました。防寒にも留意を。

注意：現地にトイレは無く、月見荘の開館前は借用できません。駅等で利用して下さい。月見荘には駐車できませんので、土手側に縦列に駐車願います！



鳥たち（古澤洋子）

### 千葉県・銚子港探鳥会（要予約）

期日：12月10日（土）～11日（日）

集合：10日午前7時50分、JR大宮駅西口、代々木ゼミナール前。

費用：19,000円の予定（バス代、1泊2食付き宿泊費、11日昼食代、保険料など）。万一過不足の場合は当日精算。

交通：往復とも貸し切りバス利用。

帰着：11日午後4時ころ、JR大宮駅西口。

定員：20名（先着順、締切り11月15日消印まで）

申し込み：往復はがきに住所、氏名、年齢（保険加入が必要です）、性別、電話番号、復信にも住所氏名を明記して、橋口長和

まで。

担当：橋口、榎本（秀）、玉井、田邊

見どころ：1日目は江戸崎でオオヒシクイを観察して、波崎港に向かい海鳥を見ます。2日目は銚子港から犬吠埼と、海鳥を満喫します。今年は何種見られるか期待が膨らみます。

注意：宿は男女別相部屋です。個室のご用意はできません。



## 行事報告

4月3日(日) 北川辺町 渡良瀬遊水地

参加: 25名 天気: 晴

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ オカヨシガモ ヒドリガモ ハシビロガモ ホシハジロ トビ ノスリ チュウヒ チョウゲンボウ コジュケイ コチドリ シロチドリ イソシギ ユリカモメ セグロカモメ キジバト アカゲラ ヒバリ ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ ホオジロ オオジュリン カワラヒワ ベニマシコ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (43種) 谷中湖の干し上げ実施でカモ類の姿は少ないが8種も残っていた。葦焼きで視界の良くなった谷中村跡地へ向かう。屋敷林跡で春の鳥を探したがまだ早かったようだ。渡り前のオオジュリン、ベニマシコがさかんに採餌していたのが印象に残った。(橋口長和)

4月29~30日(金~土) 神泉村 城峯公園

参加: 29名 天気: 晴

カワウ オシドリ カルガモ トビ コジュケイ キジバト ツツドリ フクロウ アマツバメ カワセミ ヤマセミ アカゲラ コゲラ ツバメ イワツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ カワガラス クロツグミ アカハラ ヤブサメ ウグイス エゾムシクイ センダイムシクイ コサメビタキ キビタキ オオルリ エナガ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ イカル スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (42種) 本庄駅から神泉村営宿のマイクロバスで下久保ダムに入った。ダム湖畔からヤマセミを探すもなかなか見つからない。それでも58個の瞳で探せば見つからないものは無い? ダムサイトから徒歩で、出来て2年目の宿へ到着。露天風呂で鳥談義の後は、さんずいの酉談義。夜明け前のバードコールのシャワーも期待し外に出るとフクロウが歓迎のご挨拶。例年より2週間早

いせいか夏鳥もなかなか顔を見せない。三波石峡ではオシドリとカワガラスが“取り”を務めてくれ、トリ三昧の城峯だった。(橋口長和)

6月11~12日(土~日) 秩父市 三峯神社

参加: 20名 天気: 曇

カワウ カルガモ キジバト アオバト ジュウイチ ツツドリ ホトトギス コゲラ ツバメ イワツバメ キセキレイ ハクセキレイ ヒヨドリ コルリ トラツグミ クロツグミ アカハラ ウグイス センダイムシクイ キクイタダキ キビタキ オオルリ エナガ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ ゴジュウカラ キバシリ メジロ ホオジロ カワラヒワ イカル スズメ ムクドリ カケス ハシブトガラス ハシボソガラス (37種) 秩父路の3探鳥地を巡る探鳥会。横瀬町の県民の森に着く頃には雨模様。傘を差しながら歩き始めると雨は上がり、キビタキの声がし、徐々に鳥たちが現れた。昼食後、県民の森の出口ではジュウイチが見送ってくれた。三峯神社宿坊に宿泊し、翌朝は三峯神社ロープウェイ駅から御来光を拝み、神社境内を探鳥。アオバトが何度も飛んでくれた。朝食後、皆野町の美の山公園に向かう。キビタキ、クロツグミの声の中で怪しげなさえずりが聞こえた。懸命に探したら主はなんとガビチョウで、参加者全員も大仰天。終わってみれば大満足の探鳥会だった。(橋口長和)

6月19日(日) さいたま市 三室地区

参加: 59名 天気: 曇

コサギ アオサギ カルガモ コジュケイ コチドリ キジバト カッコウ カワセミ コゲラ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ ウグイス オオヨシキリ シジュウカラ メジロ スズメ ホオジロ カワラヒワ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (24種) 芝川の工事が進捗して、北宿通りまで迫ってきた。そのために芝川上流へと代用水の木陰を歩いて探鳥。カッコウが鳴き、カワセミも定位置で全員を満足させてくれた。子育ての季節でカルガモ、コチドリ、シジュウカラと親子で見られて、その可愛さに暑さを忘れた探鳥会だった。(補見邦博)

6月19日(日) 坂戸市 高麗川

参加: 31名 天気: 曇

カイツブリ カワウ ゴイサギ ダイサギ コサギ  
 アオサギ オシドリ カルガモ トビ チョウゲンボウ  
 キジ コチドリ イカルチドリ キジバト カッコウ  
 ホトトギス アマツバメ カワセミ コゲラ  
 ヒバリ ツバメ キセキレイ ハクセキレイ  
 セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ウグイス  
 シジュウカラ ホオジロ カワラヒワ スズメ  
 ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス  
 (35種) 川角駅の改札口付近でツバメが巣作り中。  
 駅員さんも、大切に守りますと心強い言葉。  
 城山橋からカワセミ・コチドリ・キセキレイ等を見ていたら、欄干にスズメの巣が数箇所作られており、早々と通り過ぎた。堰の近くには、カイツブリの幼鳥が2羽見られた。鳥合わせ場所で、販売物を見てもらっていたら、オシドリ発見の声。全員駆け寄り、きれいな♂1羽が今時観察できたことに、皆さん満足顔だった。籠脱け鳥のカビチョウも見られた。(藤掛保司)

7月3日(日) 群馬県板倉町 渡良瀬遊水地  
 参加: 49名 天気: 曇

カイツブリ カワウ ヨシゴイ ササゴイ ダイサギ  
 コサギ アオサギ カルガモ トビ キジバン コアジサシ  
 キジバト カッコウ ホトトギス カワセミ ヒバリ  
 ツバメ ヒヨドリ モズ コヨシキリ オオヨシキリ  
 セッカ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ  
 スズメ ムクドリ オナガ ハシブトガラス ハシボソガラス  
 (32種) 夏恒例のアシ原浄化ゾーン探鳥会。真夏には珍しく曇り空で凌ぎやすい天気となった。他ではなかなか見られないヨシゴイ、ササゴイやコヨシキリ、オオヨシキリ、セッカなど葦原の鳥、託卵を狙うカッコウや水辺の宝石カワセミをじっくり観察した。(橋口長和)

7月10日(日) 熊谷市 大麻生  
 参加: 24名 天気: 曇

カイツブリ カワウ ササゴイ ダイサギ アオサギ  
 カルガモ ヒドリガモ チョウゲンボウ コジュケイ  
 キジバン キジバト カワセミ ヒバリ ツバメ  
 ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ウグイス オオヨシキリ  
 セッカ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ  
 スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス  
 (29種) 前夜までの雨も上がり、暑さも戻ってきた。河原ま

での途中にある牧草地で、キジの番と、もう1羽のみが出現。少し進んだところでガビチョウが盛んにさえずる。姿も数度確認できた。河原ではオオヨシキリ、セッカが忙しそうに飛び回り、池ではカルガモの親子連れ、パンの巣作り、カイツブリの幼鳥等を観察。梅雨最中のこの時期としては、割と楽しんで頂いたのではないかと思います。

(後藤康夫)

7月10日(日) 滑川町 武蔵丘陵森林公園  
 参加: 39名 天気: 曇

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ オオカ  
 カ コジュケイ キジバト ホトトギス コゲラ  
 ツバメ ヒヨドリ ウグイス シジュウカラ メジロ  
 ホオジロ カワラヒワ スズメ ハシボソガラス  
 ハシブトガラス (19種) 雨の予報が外れて薄日も射す。  
 オオムラサキが見られそう。まず、西田沼でカイツブリ雛4。  
 ギンリョウソウを見てから、梅園のところでオオムラサキ1とカブトムシ♂1。  
 行くうちにガビチョウの声。ウグイスの鳴き声があるが、何だか声が違う。  
 ガビチョウが真似ていた。鳥が少なく、草花も下草刈りをしていないせいか、  
 笹に覆われてしまって、ほとんど見られなくなって来たのが残念。(佐久間博文)

7月16日(土) 『しらこぼと』袋づめの会  
 ボランティア: 11名

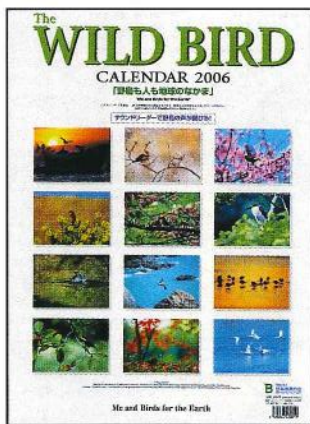
新井浩、海老原教子、大坂幸男、尾崎甲四郎、佐久間博文、志村佐治、檜山大介、檜山秀樹、藤掛保司、藤野富代、百瀬修

7月17日(日) さいたま市 三室地区  
 参加: 61名 天気: 曇

コサギ アオサギ カルガモ バン キジバト  
 カワセミ ヒバリ ツバメ ハクセキレイ ヒヨドリ  
 オオヨシキリ シジュウカラ メジロ ホオジロ  
 カワラヒワ スズメ コムクドリ ムクドリ  
 オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (21種)  
 1年で一番暑い探鳥会だったが、例月どおり沢山の参加者があった。  
 芝川の工事の現状と新宿橋付近の森が伐採された現場を見て貰う探鳥会でもあった。  
 環境の変化が鳥にどんな影響を与えるか、三室探鳥会の課題として見て行きたい。  
 課題は別として、コムクドリが出現、カワセミも飛ぶゆっくりした探鳥会になった。(楠見邦博)



●野鳥の会のカレンダー 2006



定価 1,470 円のところ、会員価格 1,250 円で販売中。例年 12 月半ばには売り切れます。お早めに。

●会長の本

柳生博著『鳥と語る』(B6 版 196 ページ、定価 1,700 円+税) がペンぎん書房から発刊されました。コウノトリやツバメなどについて語る 23 の短文が、自然と向き合う柳生会長の姿勢を写し出します。本会主任研究員安西英明の解説付き。県支部では会長のサイン入り 20 冊を限定定価販売する予定です。

●会員の本

浅香富士太著『野鳥の俳句と季語一元禄・天明から昭和・平成まで』(B6 版 160 ページ、定価 1,200 円) が、現代文藝社から発刊されました。秩父生まれの著者が、探鳥会などに参加して「野鳥の季語と現実の野鳥の違い」を感じ、野鳥俳句を収集して「季語」に対する思いを書きました。県支部会員には無料でおわけしたいとのこと。送料として 210 円分の切手を同封して、  
浅香富

士太さん までお申し込みください。

●ごめんなさいコーナー

前月号小林昌夫さん(三郷市)の「奄美探鳥旅行」、5 ページ左欄下から 7 行目「ヒヨドリ」は「イソヒヨドリ」の誤りでした。

●事務局の予定

- 11 月 5 日(土) 編集部・普及部会議。
- 11 月 12 日(土) 12 月号校正(午後 4 時から)。
- 11 月 19 日(土) 袋づめの会(午後 3 時から)。
- 11 月 20 日(日) 役員会。

●会員数は

10 月 1 日現在 2,359 人です。

**活動報告**

- 9 月 10 日(土) 10 月号校正(海老原美夫・佐久間博文・藤掛保司)。
- 9 月 12 日(月)、14 日(水) 本部常務会などに出席(海老原美夫)。
- 9 月 17 日(土)、18 日(日) 吾妻支部担当の関東ブロック協議会に出席(藤掛保司、海老原美夫、橋口長和、小荷田行男)。
- 9 月 18 日(日) 役員会(司会: 内田孝男、年末講演会などの日程調整、その他)。
- 9 月 20 日(火) 10 月号を発送(倉林宗太郎)。

**編集後記**

大変うれしいことに、9 月 16 日付け産経新聞埼玉版に、『しらこぼと』9 月号の特集「私の散歩道・寺尾調整池」が大きく紹介されました。藤掛支部長が 9 月号を片手に PR している姿が、目に浮かびます。皆さんも、ご自分のフィールドを紹介してください。編集部がお手伝いします。(山部)

当たり前だけど、11 月の次は 12 月、師走！普及部では夏のころから早々と年末講演会の準備を進めています。今年は東邦大学のアホドリ先生こと長谷川博さんの予定。正式発表は 12 月号で。お楽しみに。(海)

**しらこぼと** 2005 年 11 月号(第 259 号) 定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)  
 発行人 藤掛保司 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 郵便振替 00190-3-121130  
 〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号  
 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460 <http://www.bekkoame.ne.jp/ro/wbsj-saitm/>  
 編集部への原稿 [yamabezuku@hotmail.com](mailto:yamazekuku@hotmail.com) 野鳥情報 [toridayori@hotmail.com](mailto:toridayori@hotmail.com)  
**住所変更退会などの連絡先** 〒151-0061 渋谷区初台 1-47-1 小田急西新宿ビル 1 階  
 (財)日本野鳥の会 会員室会員グループ TEL 03-5358-3511 FAX 03-5358-3608  
 本誌掲載記事はホームページに転載されます。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。再生コート紙を使用しています。 印刷 関東図書株式会社